



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり3本

4月12日号（308号）

編集／販売総本部ブランドプロモーショングループ

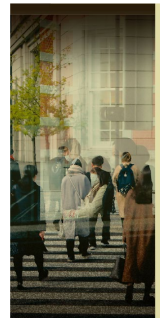
慰安婦問題を埋もれさせない

—— 平井美津子さんの戦い

12日(日) = 1、3面



で長年、慰安婦問題を取り上げてきた。排外主義的な団体の標的にされ、授業をやめるよう、教育委員会から遠回しに言われたこともありましたが、めげずに続けられたのは、生徒たちの存在が大きかったようです。平井さんは定年退職後の再任用の期間が終わり、この春、43年間立ち続けた教壇を降りました。これまでの人生に迫ります。



迫る

大阪府内の中学校教諭、平井美津子さん(65)
|| 写真 || は授業

令和の歌会始に吹いた新しい風

18日(土) = オピニオン面

タナー・J・マクミランさん
|| 写真、本人提供 || が出席しました。外国人として初めて、特別枠で歌を詠む「召人」として天皇陛下に招かれました。



今年1月に
皇居で開かれた
伝統行事
「歌会始の儀」
にアイルラン
ド出身のピー

民と天皇、自然と人間、日本と世界、それらが調和した空間にいるような気持ちでした」と語ります。



中東の秩序回復の道は

17日(金) = オピニオン面



論点

米国とイスラエルによる対イラン軍事作戦を巡り、トランプ米大統領は日本時間8日、「2週間の攻撃停止」に同意しました。イラン側も応戦しないと表明しました。これにより、事実上封鎖されていた原油輸送の要衝・ホルムズ海峡の船舶通過も正常化されることが期待されています。

多くの火種を抱えた複雑な中東情勢の今後について、専門家に話を聞きました。

